

mFOLFOXIRI +BV

切除不能・進行再発結腸・直腸癌

対象患者:PS 0-1

BV 5mg/kg



ℓ-LV 200mg/m ²	5-FU 2,400 mg/m ² 46時間持続
ℓ-OHP 85mg/m ²	
CPT-11 150mg/m ²	

※UGT1A1遺伝子*6、*28
原則野生型orシングルヘテロの方が適応です。ダブルヘテロ複合体、若しくはいずれかのホモ接合体の場合CPT-11 120mg/m²への減量等を考慮。

[day 1]

[day 2]

2W1クール
12KURまで

NO	薬品名・規格	投与量	投与速度
1	イメンドカプセル125mg	経口(抗がん剤投与60-90分前)	
2	アロキシバッグ 0.75mg 50ml デキサート 9.9mg		15分
3	生食 100ml ベバシズマブ		mg
4	生食 50ml		15分
5	5% Tz 250ml イリノテカン	mg	60分
6	5% Tz 250ml エルプラット	mg	120分
7	5% Tz 250ml レボホリナート	mg	120分
8	生食 5-FU	ml mg	46時間

同時投与

シユアフューサー・ポンプ[®]使用時
生食量は5-FU量による

経口制吐剤:Day2-4

イメンドカプセル(80) 1カプセル 分1(朝) Day2-3
デカドロン錠(4mg) 2錠 分2(朝・昼) Day2-4

☆投与後早期(投与中または投与後1-2日目)に発現する腹痛や下痢に対しては、アトロピン0.5-1Aもしくはブスコパンの混注を考慮して下さい。

☆本治療を行う前にUGT1A1遺伝子の検査を実施して下さい。

JACCRO CC-11 trial より